

防災訓練実施結果報告書

25京大施環安第105号

平成25年7月10日

原子力規制委員会 殿

報告者

住所 京都府京都市左京区吉田

氏名 国立大学法人京都大学

総長 松本

(法人にあってはその名称及び)

(担当者 中央管理室長)

防災訓練の実施の結果について、原子力災害対策特別措置法第13条の2第1項の規定に基づき報告します。

原子力事業所の名称及び場所	京都大学原子炉実験所 大阪府泉南郡熊取町朝代西 2-1010
防災訓練実施年月日	平成24年10月1日
防災訓練のために想定した原子力災害の概要	研究用原子炉 (KUR)の運転中に震度6強の地震発生、外部電源喪失・非常電源起動不可による全電源喪失、冷却水の漏えいから原子炉の冷却機能が喪失したことによる原災法10条事象発生を想定、15条事象には至らず事故は収束。
防災訓練の項目	総合訓練（初動対応訓練、通報連絡訓練、緊急対策本部運営訓練、緊急作業団活動訓練）
防災訓練の内容	①地震発生時の対応訓練 ②緊急対策本部設置及び運営訓練 ③現地指揮本部の設置及び運営訓練 ④緊急作業団召集及び実地訓練 ⑤情報連絡訓練（対外的訓練も実施） ⑥無線機使用訓練 ⑦緊急被ばく医療に関する訓練 ⑧放水訓練
防災訓練の結果の概要	訓練項目及び内容はほぼ予定通り実施され、訓練の進行も予定通り推移した。
今後の原子力災害対策に向けた改善点	原災法15条事象を踏まえた活動訓練

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。